



TTC創設満10周年を迎えて

(社) 電信電話技術委員会
会長 豊田 英二

本月25日、TTCは、創設満10周年を迎えます。

100年を越える電気通信の歴史のなかでは、短い期間に過ぎませんが、TTCにとって、最も激しい変革の時代を共にしたという点では、この10年は貴重な歴史であったわけです。

TTCは、変革の幕開けである電気通信市場の自由化と、貿易摩擦を契機として、誕生したのですが、その後の著しい技術の進展、社会・経済の大きな変動の波が、否応なしにTTCの標準化活動に影響を与えたことも、ご承知のとおりです。

しかし、その中にあっても、TTCは創設の目的である「公正・透明な手続きによる民間標準の策定」をなし遂げてまいりました。これまでに、TTCが策定した標準は、232件に及び、近年の電気通信の目ざましい発展の基礎となつてまいりましたし、標準化活動の拡がりに伴う国際・国内各般にわたる多くの課題についても、適切に対処することができました。

これもひとえに、TTCを支えて下さった会員の皆さんのお蔭でありまして、この機会に厚く御礼申し上げますとともに、創設満10周年を迎えるにあたり、先ず皆さんとともに、喜びを分かち合いたいと思います。

しかしながら、21世紀に向けた、高度情報社会構築への潮流は、世界的な情報通信基盤の整備、いわゆる「GII」実現への動きを見るまでもなく、さらに強いものとなりつつあり、これに伴いまして、標準化に対する期待も一段と高まってきております。

「GII」実現には、世界的な相互接続性・相互運用性、即ち、標準化が不可欠であり、本年2月のG7閣僚会議において、これが重要な合意となっていることは、ご承知のとおりであります。

加えて技術的な側面でも、通信と情報処理、有線と無線、放送からマルチメディアソフトに至るまで、従来の枠組みを越えた新しい分野への対応が求められておりますほか、各種フォーラム活動との連携や知的所有権に関する適切な配慮も欠かすことができません。

既に皆さん方は、これらの課題解決に向けて、意欲を燃やしておられることも、承知しております。

これまでの10年、TTCは、皆さんの力で、十分にその使命を果してまいりました。これからも、民間主導による公正・透明な標準化活動は、益々期待されることとなりましょう。

21世紀を誇りをもって迎えられるよう、皆さんと更なる努力を続けたいと考えています。

TTC Report NO.58 目次

- 巻頭言
- 電気通信標準化シンポジウム'95...1
- TTC 10年のあゆみ...3
- 第17回TTC標準案事前説明会模様...6
- TTC標準の修正...7
- 今期における専門委員会の取組み...8
- TTC特別セミナー開催模様...22
- アジア・太平洋電気通信共同体(APT)研究委員会(SG)第15回会合報告...23
- 第5回ATM/B-ISDNテクニカルワークショップ参加報告...26
- HATSセミナー'95の開催について...29
- お知らせ...30
- TTC事業活動報告...35
- 文化